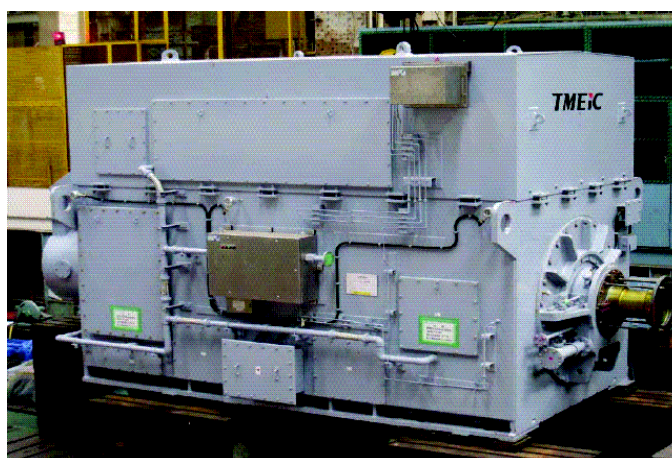


モータ&ドライブシステム大容量実負荷試験装置 運用開始のお知らせ ～ 世界トップクラスの大容量実負荷試験装置を構築 ～

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEiC)(社長: 榎原 潤一)は、今後市場拡大が見込まれるOil & Gasプラント向高速コンプレッサの電動化に対応して、長崎事業所(長崎市)に可変速電動機試験用の負荷設備として30MVAの負荷回生用インバータを導入し、モータ&ドライブシステム(以下、M&D)大容量実負荷試験装置の運用を開始しましたのでお知らせします。



【ドライブ装置: TMdrive-XL85】



【高速可変速大容量モータ】

背景

Oil & Gasプラント向高速コンプレッサの駆動方式はガスタービン駆動方式が主流であったが、近年は超高速大容量M&Dを採用した環境性に優れた電気駆動方式が注目されている。これらOil & Gas分野では実負荷組合せ試験が契約条件になる場合が多く、これら競争を優位に進めるため本試験装置の導入を図る。

M&D大容量実負荷試験装置の特長

1. 電機メーカの設備としては世界トップクラスを実現

大容量ドライブ競合メーカ各社に負けない可変速電動機試験用の負荷設備として30MVAの負荷回生機能付可変速ドライブ装置を常設

2. 大容量コンプレッサ用に特化したドライブ装置

ドライブ装置(当社製品名: TMdrive-XL85/75/55/80)は大容量コンプレッサ駆動を主目的に広い容量範囲(8MVA～120MVA)と高速ドライブ(～12000rpm(200Hz))に対応

3. 常設設置スペースのミニマム化

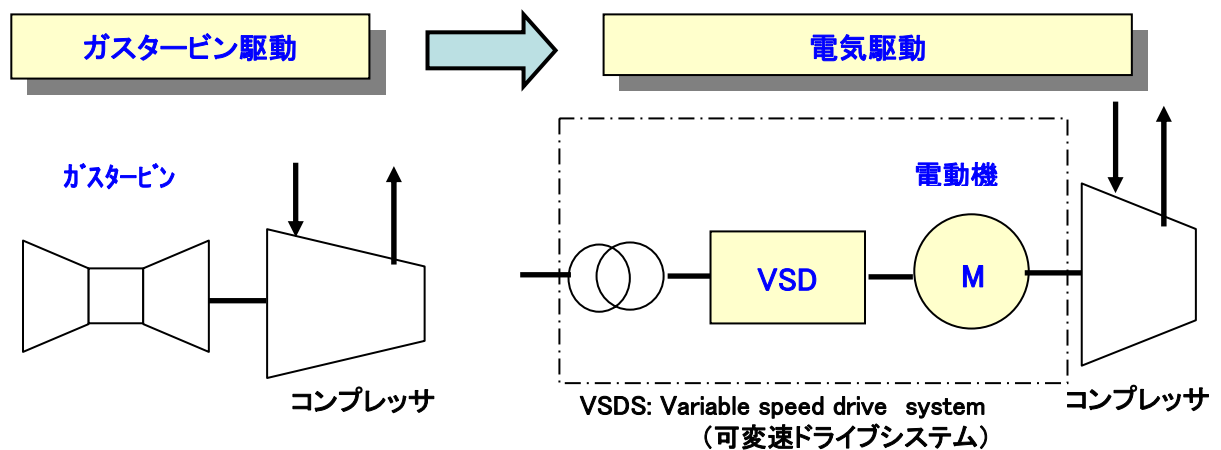
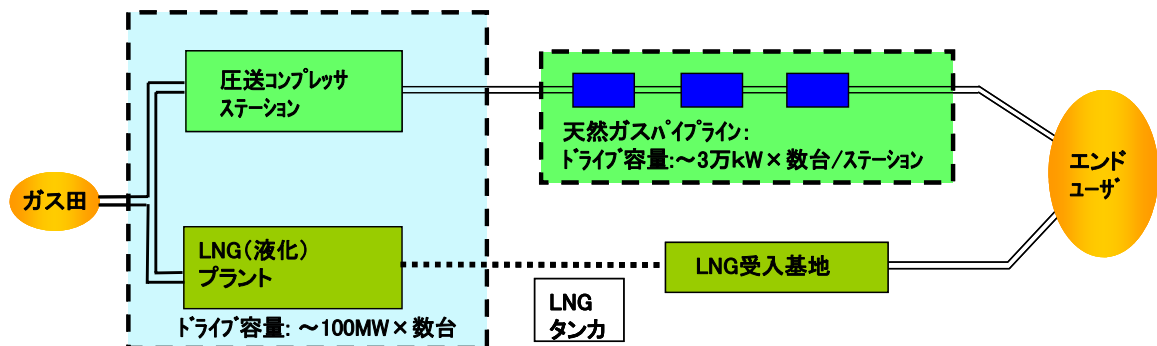
試験設備機器のコンパクト化による常設設置スペースのミニマム化

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画部
〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MT ビル
Tel: 03-5441-9140 Fax: 03-5441-9125

【補 足】

●Oil & Gas分野における大容量コンプレッサの適用例



●電気駆動方式による超高速大容量M&Dの概要

超高速大容量M&Dによる電気駆動方式は、従来のガスタービン駆動方式で発生するCO₂排出を低減し、優れた操作性や容易な保守性からエネルギー業界より新しい駆動方式として期待されている。

＜主な特長＞

- ・超高速大容量モータの採用により、従来必要であった回転数を増速するギアを不要とし、コンプレッサを直接駆動するので、増速機のスペースが不要で設備全体が簡素化され動力伝達ロスを低減。
- ・電圧型可変速ドライブ装置の採用により、安定した電動機の可変速制御を実現。高調波が低減されるため、電力系統の安定化に寄与。